

永和中学校体育館 老朽化対策の考えは

石崎 誠子議員



早期に改築や改修に取り組む必要がある
教育部長



▲屋根の中央が凹んだ構造の永和中学校体育館の外観

問 永和中学校体育館が一時閉鎖に至った経緯は。

答 夏休み期間中に天井部材の一部が床に落ち、体育館の使用を中止した。

他にも天井部材が剥落する可能性が考えられたため、夏休み明けから使用禁止とした。10月13日から、安全を確認し、体育館の使用を再開した。

問 再開時の安全確認はどのような行なったのか。また、剥落の原因は何か。

答 部材が剥落した箇所とフラックや浮きが見られ48カ所の周囲をあらかじめ取り壊し、目視確認の上、利用を再開した。剥落は雨漏りが原因であると考える。

問 永和中学校体育館のこれまでの雨漏り対応は。

答 平成17年度に屋上防水シート全面張り替え、28年度、29年度、令和元年度に屋上防水シートの部分補修、3年度は屋上

防水シートの部分補修に加え、屋上ひび割れ箇所のシーリングを実施した。

問 雨漏りの原因は何か。他に不具合はないのか。

答 永和中学校体育館の屋根の構造上、屋上防水対策が必要で、防水シートの劣化が、雨漏りの要因の一つと考えられる。雨漏りにより、体育館のフロアが濡れて水を含み、床材のゆがみやささくれ立つ等の不具合が生じている。

じている。

問 永和中学校の体育館は、このまま修繕と雨漏りの繰り返しが続くのであれば、また天井から部材が落下する状況も考えられる。今回は生徒等に怪我は無かったが、次は怪我をする可能性が無いとは言えない。もし、体育館屋根の構造が雨漏りの要因であるならば、改築も視野に入れ、老朽化対策に取り組んでもら

いたい。この先、永和中学校が存続するのか、追統合するのかを決めた上で、老朽化対策を進めていかなければならないと思うが、どのような考えか。

答 教育委員会が策定を進めている「第一期愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」で取り組む施策案については、永和学区の小中学校に関しては示していない。永和中学校の体育館においては、早期に改築もしくは改修による老朽化対策に取り組む必要がある。

その他の質問

● 移動手段の確保と、さらなる充実を